

MM展・BEANSプロジェクトブ - ス2010

昨年7月の同展への参加以来2度目の展示となります。BEANS展示ブースは昨年5小間（1小間は3m×3m）でしたが、今回は12小間に拡大しました。（独）新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）とBEANS研究所の共催です。ブース位置は来場者入口からは遠い会場隅ですが、（財）マイクロマシンセンターブースの隣で、会期中の各種セミナーを行う特設会場A、Bに隣接しています。

昨年度はBEANSプロジェクト自体の認知度はまだ低かったため、BEANSプロジェクトの認知度を上げることに注力した展示内容でした。本年度も引き続き業界関係者に認知いただくことも重要ですが、プロジェクトの「中間評価」時期にあたる今回は「成果報告」が最重要目的であると位置付けています。会期中7/29午後に行われる「BEANSプロジェクトセミナー」での成果報告と合わせて、BEANSプロジェクトは開始から約2年間で如何に大きな成果が上がり、期待以上の達成度であったと評価されるような成果報告の場としたいと考えています。

展示ブースは四方を通路に囲まれた島となっています。島入口にBEANSのシンボルとなっている明るいグリーンのマメの木のシンボルオブジェを配置しています。ブース内はカーペットなどグリーンに統一しています。基本的にオープンなブースとして通路との境界に壁などは配置しませんが、見学者にはすべてを見てもらえるような動線を考えています。ブース入口は本部展示ゾーン、中に入るとMacro BEANS、3D BEANS 東京、Life BEANS九州、Life BEANS 東京など各センターのゾーンが続きます。

各センターの展示物は基本的に「ポスター」と「モックアップや実物の展示物」「CGもしくは実写映像を提供するディスプレイモニター」で構成されます。見どころとなる展示物は、BEANSが創出する新しいライフスタイル（本部） 中性粒子ビーム低損傷エッチング、超臨界成膜のメカニズムを解説した科学模型、トレンチキャパシター、ペプチドを使ったパターンニング、ツール3D加工写真、「異種細胞ハイドロゲルビーズから作られた人型」、「血糖値に応じて耳が光る」関係の大型パネルと実際に光る細胞ビーズの展示など、ナノ構造繊維基材研究用の機織り実験と大気圧成膜関係のシミュレーション・アニメーション、メーター級タッチセンサー織物などを予定しています。



それから展示内容と連動しまして「第4回BEANSプロジェクトセミナー」が特設会場Bにて7月29日の午後に開催されます。BEANS PJの中間成果が報告されるセミナーですのでこれにも是非ご参加いただきたいと願っております。

Gデバイス@BEANSブース

Gデバイスは、NEDOプロジェクト「異分野融合型次世代デバイス製造技術開発事業（BEANSプロジェクト）」に新たに加えられ、今年4月に開始しました。

研究課題としては、高機能センサネットワークシステム開発、低環境負荷型プロセス開発を行っております。

高機能センサネットワークシステム開発においては、大口径（8インチ）MEMS用クリーンルームにおける消費エネルギー、温度、圧力、風量、異物粒子、ガスなどをセンシングし、省エネルギー、低炭素化などに関する効果を分析するためのセンサネットワークシステムなどを試作しております。会場では、多点の温湿度と異物粒子情報をセンシングし空調機の制御等のデモ展示を行い、詳細にご紹介致します。また温度、光、湿度等のセンサーネットワークシステムを用いた植物工場にて、省エネルギー、生産性の高い作物栽培の効果を検証します。会場では、ミニ植物工場ユニットをデモ展示し、詳細にご紹介致します。

低環境負荷型プロセス開発においては、環境負荷の小さい高効率なエッチングプロセス、異種デバイスをウェアレベルで一括集積化、MEMS化による環境負荷低減プロセス・デバイス、デバイス設計時から環境負荷を考慮した情報共有化等を行っており、内容を詳細にご紹介致します。

私共は、グリーンイノベーションを牽引するGデバイスについて熱く語りたいたいと思っておりますので、是非ともご来場頂きたいと願っております。